

2024年
新6年志望校別特訓説明会

須磨学園特訓

日能研関西

■ 学校概要

◆ アクセス ◆

学校法人須磨学園

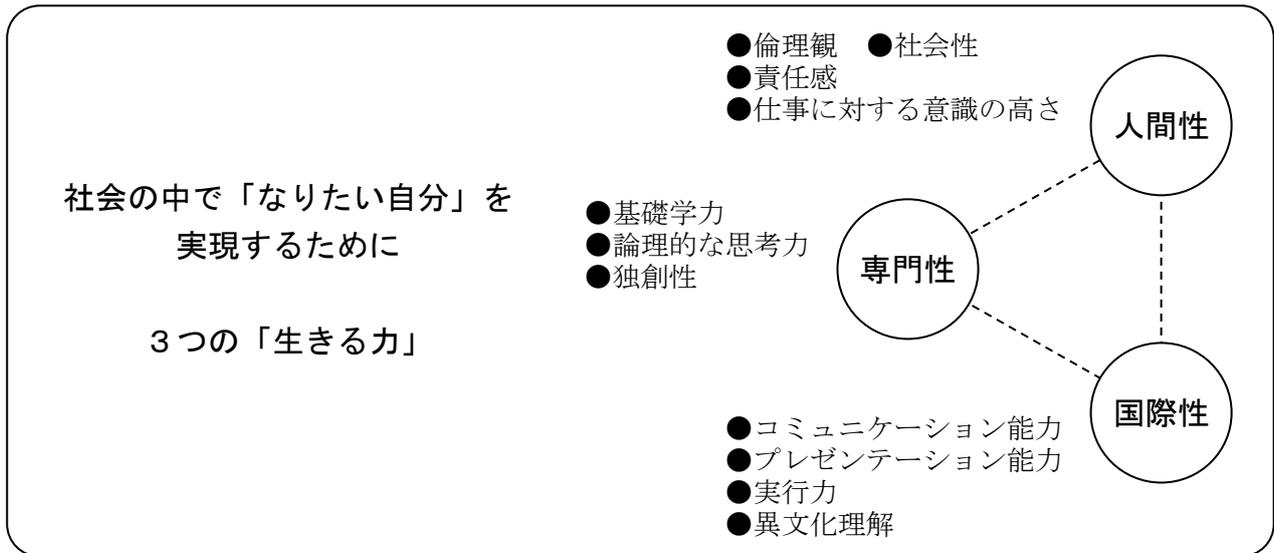
須磨学園高等学校・中学校

〒654-0009 神戸市須磨区板宿町 3-15-14



○神戸市営地下鉄もしくは山陽電鉄の板宿駅から徒歩 15 分

◆ 教育方針 ◆



< 須磨学園の8つの教育方針 >

① TBM 教育 To Be Myself

真の目的は「創造性を育む」こと

金曜日の1時間目に、「タイムマネジメントの時間」があります。「目標を達成するために何をすべきか」を書き出すのがPM（プロジェクトマネジメント）、そして「それをいつするのか」をスケジュールに落とし込むのがTM（タイムマネジメント）です。TBMシートでは新学期を迎えるたびに将来の夢や長期的なテーマについて考え、シートに書いていきます。「なりたい自分」をイメージしておくことで日々の取り組みがさらに中身の濃いものになります。

② 国際理解教育 Cross-cultural Communication Studies

異文化をあるがままに受け入れる

海外研修旅行など異文化に接する機会を数多く設けています。国際社会では、人との関係に垣根を作らず、コミュニケーションをとることが重要です。異文化に接する時に、違いをあるがままに受け入れる寛容性を育みます。また異文化に対する心理的ハードルを下げ、オープンマインドで異文化交流に臨みます。

③ ICT 教育 Information & Communication Technology

情報社会に必要なリテラシーとモラルの向上を図る

校内にWi-Fi環境を完備しています。1人1台の「制パソコン・制携帯（スマホ）」を配付し、危険性やルールを指導します。授業や課題などで積極的に活用し、情報リテラシー向上を図っています。オンライン授業にもスムーズに対応できます。

④ LCT（リーダーシップ）教育 Leadership & Collaborative Teamwork

集団の中で「自分の役割」を考え、行動する力を養う

学校行事やクラス活動を通じ、リーダーシップやチームワークを考える機会を設けています。生徒自らがリーダーシップを発揮し、協力して一つのを創り上げることで、社会生活におけるコミュニケーション能力を育成します。

⑤ BNIT 教育 Books, Newspaper, Internet, Television

演習を通じて、メディアリテラシーを養成する

BNIT とは、Books・Newspaper・Internet・Television の頭文字を組み合わせたもので、情報検索の方法を学び、問題解決能力、メディアリテラシーなどを養う授業です。個人研究や大学生活でも活かせる論文執筆の基礎力も身につけられます。

⑥ キャリア教育 Career Education

様々な体験を積み重ね、「なりたい自分」を見つける

身近な人への職業インタビューに始まり、国内外の大学や研究所、企業を数多く訪問します。様々な進路を実現した卒業生から話を聞く機会もあります。自分の好きな分野や得意分野を見つけ、専門性を高め、進路を実現する力を育成します。

⑦ 環境教育 Environmental Education

環境と社会の持続的な関わり方を日常生活から学ぶ

省エネ、省資源、古紙リサイクル、ごみの分別回収の徹底などを行っています。また、年1回全校生徒にアンケートを実施し、環境への意識を高めています。近年は SDGs への関心を高める活動も実施しています。

⑧ 平和教育 Education for Peace

「平和」であることの意味と大切さを理解する

平和の重要性を学ぶ目的で、中1で長崎、高3で広島を訪問します。現地を訪問する前に、被爆体験伝承者をお招きし、講話をしていただきます。現地訪問では、よりリアルに戦争の悲惨さや平和の尊さを感じるものとなります。

<国内研修旅行>

本校は、「経験を通して学ぶ」ということを重視しています。中学1年生の長崎での平和学習に始まり、高校3年生の広島での平和学習で終わります。研修旅行それぞれにテーマがあります。特に中学校では、まず日本のことを深く知り、海外研修旅行へと繋げていきたいと考えています。自然の中での体験などを通して協働的な学びを実践しています。

○ サマーキャンプ [中1 ハチ高原 / 中2 北木島 / 中3 高野山]

自然に触れながらリーダーシップやチームワークを育みます。体験活動から様々な分野への関心を広げ、現地の方々との触れ合いを通して感謝の心を養います。

○ 平和学習 [中1 長崎 / 高3 広島]

広島、長崎で原爆被害の実態を知り、平和の尊さをはっきりしたかたちで生徒の心に刻みます。また中1の研修では歴史的な史跡を巡ります。

○ ウィンターキャンプ [中1～中3 合同]

スキーの他に、雪山の自然を体感するスノーシューやクロスカントリー体験も取り入れています。3学年が合同で行うキャンプで縦の絆が結ばれます。

○ 首都探訪 [高1 古都研修 / 高2 東京研修]

「古の都」飛鳥、奈良、京都、「現代の都」東京を訪れ、日本の都の変遷を理解します。東京では大学、企業、政府機関を訪問することで、自分の進路も考えます。

<海外研修旅行>

企業、大学、研究所、美術館、博物館、歴史的な場所などを訪れ、異なる価値観や文化に触れることにより多様である文化的価値観を学びます。また、現地校を訪問して同年代の生徒とも交流する機会を設けています。3回の海外研修を通して、「違いを違いとして受け入れる心」を育ててほしいと考えています。つまり、「すべての文化は等価である」という“横の理解”を深めます。

○ アジア [中2]

アジア各国を巡り、日本がアジアの一員であることを学びます。また、中学2年生という早い時期に、各国の有名校との学校交流を体験することで、異文化に対してオープンマインドで向き合えるようになります。

○ アメリカ [中3]

ケネディ宇宙センターやボーイング社工場などを訪れ、最新のテクノロジーを見聞して視野を広げ、スケールの違いを体験します。学校交流ではプレゼンテーション能力を高め、現地の生徒と英語で意思疎通をはかることでコミュニケーション力を高めます。

○ ヨーロッパ [高1]

パリやロンドン、ベルリンやウィーンの美しい街並みを散策し、歴史や芸術に触れます。また、ベルリンの壁など対立や戦争が遺したものにも触れることで、平和について考えます。ロンドン・リール・ベルリンでは、現地の高校生との学校交流を行います。

募集要項

入学試験概要

コース名	Aコース（難関国公立大学）	Bコース（最難関国公立大学）
募集定員	80名	40名

Aコース・Bコース 合計120名

出願資格	2024年3月 小学校卒業見込みの者及び同等の資格を有する者
------	--------------------------------

入試回	第1回入試	第2回入試	第3回入試
-----	-------	-------	-------

出願方法 出願期間 注意事項	出願方法：インターネット出願（本校ホームページより） 出願期間：〈第1回入試〉2023年12月19日（火）～2024年1月11日（木）16:00まで 〈第2回入試〉2023年12月19日（火）～2024年1月14日（日）8:00まで 〈第3回入試〉2023年12月19日（火）～2024年1月14日（日）14:00まで ※インターネット環境がない場合は、本校受付窓口で出願可能です。出願期間内にご予約の上、来校してください。（ご予約は本校入試事務局（078-732-1968）まで） 志願者の顔写真データが必要です。志願者と一緒に来校してください。 本校受付窓口でのインターネット出願の場合、受験料は現金納入も可能です。 ※出願にあたり、調査書等の提出は不要です。 ※受験にあたり、特別な配慮（体調配慮等）が必要な方は、本校入試事務局（078-732-1968）までご相談ください。 ※海外帰国生優遇措置を希望される方は、別途書類の提出が必要です。 （提出期限は1月11日（木）必着）		
----------------------	--	--	--

受験料	各回20,000円 ※出願後は理由の如何によらず返還いたしかねます。あらかじめ、ご了承ください。		
-----	---	--	--

試験日時	1月13日（土）【午前】 3教科型 8:30～12:00 4教科型 8:30～13:00	1月14日（日）【午前】 3教科型 8:30～12:00 4教科型 8:30～13:00	1月14日（日）【午後】 2教科型 14:30～17:05
------	--	--	----------------------------------

試験会場	本校会場	本校会場	本校会場・三宮会場 ※三宮会場定員：200名程度を予定
------	------	------	--------------------------------

試験科目	3教科型 国語・算数・理科 4教科型 国語・算数・理科・社会 ※国・算[各60分/各150点] 理・社[各40分/各100点] ※出願時に受験型を選択してください。出願後の受験型の変更はできません。 ※4教科型で受験した場合、3教科の得点率と4教科の得点率のいずれか高い方で判定します。	3教科型 国語・算数・理科 4教科型 国語・算数・理科・社会 ※国・算[各60分/各150点] 理・社[各40分/各100点] ※出願時に受験型を選択してください。出願後の受験型の変更はできません。 ※4教科型で受験した場合、3教科の得点率と4教科の得点率のいずれか高い方で判定します。	2教科型（国・理選択） 算数・国語or算数・理科 ※国・算・理[各60分/各150点] ※いずれで受験しても得点率で判定します。 ※出願時に受験科目を選択してください。ただし、試験当日、選択科目は問題を両方配布します。問題をみて変更することも可能です。
------	--	--	--

優遇措置	①連続受験加点 第1回入試受験者には、次回受験時に6点加点。第2回入試受験者には、次回受験時に4点加点。 3回連続受験者には、第3回入試受験時に10点の加点。 ②海外帰国生優遇措置（インターネット出願時「海外帰国生優遇措置利用」の項目に要チェック） 対象：小学校中高学年時に1年6カ月以上の海外在住経験がある者 試験配点：傾斜配点（算200点、国・理100点）と通常配点のいずれか高い方の得点率で判定します。 加点：英検2級以上の所持者には、各回5点加点（連続受験加点併用可） 必要書類：帰国子女調査票、英検合格証の写し（所持者のみ）2024年1月11日（木）必着 郵送先：654-0009 神戸市須磨区板宿町3丁目15番14号 須磨学園中学校入試事務局宛		
------	--	--	--

合格発表	1月14日（日）15:00～ 本校ホームページと校内掲示	1月15日（月）16:00～ 本校ホームページと校内掲示	1月15日（月）16:00～ 本校ホームページと校内掲示
------	---------------------------------	---------------------------------	---------------------------------

入学予約 手続き	1月15日（月）12:00まで	1月17日（水）12:00まで	1月18日（木）12:00まで
-------------	-----------------	-----------------	-----------------

入学完了 手続き	1月22日（月）15:00まで		
-------------	-----------------	--	--

※24時制で表記しています。

合格後の手続きおよび費用

1 入学手続き金・納入方法

入学手続き金 総額 600,000円	入学予約手続き	入学前納金 100,000円	〈手続き締切〉 第1回：1/15（月） 第2回：1/17（水） 第3回：1/18（木） 各日 12:00 まで	〈納入方法〉 次の①～③のいずれかの方法で納入してください。 ①本校へ現金を持参 ②銀行窓口にて専用の「振込依頼書」で振込 ※出願完了後、メールでご案内するサイトよりダウンロードおよび印刷をしてご利用ください。 ③インターネットバンキング、銀行・コンビニATMで振込 ※手数料はご負担ください。
	入学完了手続き	入学諸費用 500,000円	〈手続き締切〉 各回共通：1/22（月） 15:00 まで	〈納入方法〉 次の①～②のいずれかの方法で納入してください。 ①銀行窓口にて専用の「振込依頼書」で振込 ※入学手続き冊子一式に同封しています。 ②インターネットバンキング、銀行・コンビニATMで振込 ※手数料はご負担ください。

入学前納金 100,000 円の入金確認後に入学手続き冊子一式をご郵送します。また、現金持参の方には直接、入学手続き冊子一式をお渡します。なお、一旦納入された入学前納金は、理由の如何によらず返還いたしかねます。

2 入学手続き期間および事務局窓口の受付時間帯

		第1回入試合格者	第2回入試合格者	第3回入試合格者
入学完了手続き期間	1月14日(日)	15:00～18:00		
	1月15日(月)	9:00～12:00	16:00～18:00	16:00～18:00
	1月16日(火)	1月15日(月) 12:00最終締切	9:00～12:00	9:00～12:00
	1月17日(水)		9:00～12:00	9:00～12:00
	1月18日(木)		1月17日(水) 12:00最終締切	9:00～12:00
	1月22日(月)			1月18日(木) 12:00最終締切
		1月22日(月)15:00までに入学諸費用500,000円をお振込ください		

※インターネットバンキング、銀行・コンビニATMでお振込される場合は各手続き締切時間内に着金するようお手続きをお願いします。

3 物品販売、中学入学前プレ学習会、オリエンテーション等の日程のご案内

来校予定日	時 間	内 容
1月27日(土)	女子：9:30～10:30 男子：10:45～11:45	物品販売(制服採寸、指定品購入等)
2月17日(土)	9:00～12:00	中学入学前プレ学習会①(英語・数学・国語)
3月9日(土)	9:00～12:00	保護者対象：第1回オリエンテーション 児童対象：中学入学前プレ学習会②(英語・数学・PC)
3月23日(土)	10:00～12:00	保護者・児童対象：第2回オリエンテーション

※詳細は新人生特設サイトでご案内いたします。サイトURLは出願時にご登録いただいたメールアドレスにお送りいたします。

4 入学手続き金の内訳（入学前納金 100,000 円を含む）

		項目	金額	備考
入学手続き金 総額 600,000円	校納金 440,000円	入学金	220,000円	高校進学時にも必要です。
		施設設備費	220,000円	
	生徒 使用分 160,000円	制服一式	56,100円	夏冬正制服一式 (オプション含まず)
		学校指定品	42,730円	体操服一式・制靴・制靴等
		副教材	61,170円	問題集・辞書等
合計	入学手続き金 総額	600,000円	入学前納金として 100,000円 入学諸費用として 500,000円	

※寄付金や学校債の購入をお願いすることはありません。

5 授業料等

(1) 授業料等納入金について

		項目	月額	年額	備考
授業料 諸費 教材費等	校納金	授業料	48,000円	576,000円	
		育友会費 生徒会費等	2,000円	24,000円	
		小計 ①	50,000円	600,000円	
	生徒使用 教材費等	旅行積立金	35,000円	420,000円	計15回研修旅行分
		PCリース料	4,600円	55,200円	3年間リース料支払い後は自己所有 (リース料は2024年度見込)
		制携帯基本料金	3,900円	46,800円	(2023年度実績)
		諸費用預り金	6,000円	72,000円	模擬試験代、教材費、実習 材料費、健診費、写真代等
		小計 ②	49,500円	594,000円	
	合計	①+②	99,500円	1,194,000円	

※特別講座や特別授業についての費用は一切いたしません。

※生徒使用教材費等は、社会情勢などにより変動することがあります。

※旅行積立金・諸費用預り金は、最終学年で精算の上、余剰金はお返しいたします。

※兄弟が本校に在籍する場合、弟妹に年額 240,000 円の通学支援金を支給いたします。

(2) その他費用(希望者対象)

①スクールバス協力費（中学生希望者対象）

運行ルート	実施期間	協力費
山陽・地下鉄板宿駅～本校	4月～9月	12,000円
	10月～3月	12,000円

②海外短期留学・国内語学研修費用（高1希望者対象）

プログラム	実施予定月	費用	備考	
アメリカ短期留学(ハーバード大学)	7月下旬(10日間)	878,000円	左記の費用は見込金額 です。 ※参加人数、社会情勢 等により金額は変動 します。 ※燃油サーチャージは 含まれていません。	
カナダ短期留学(プリティッシュコロンビア大学)	7月下旬(16日間)	650,000円		
イギリス短期留学(オックスフォード大学)	3月中旬(16日間)	850,000円		
イギリス短期留学(ケンブリッジ大学)	3月中旬(16日間)	850,000円		
夏期国内語学研修	通常版(本校)	7月下旬(5日間)		55,000円
	発展版(本校)	8月上旬(5日間)		55,000円
春期国内語学研修(本校)	3月下旬(5日間)	55,000円		

(6年 第3回保護者会資料より抜粋)

● 2025年度入試 日程 ●

18日(土)	19日(日)	20日(月)
須磨 第1回 3科 8:30~12:00 4科 8:30~13:00 国・算 60分 150点 理・社 40分 100点	須磨 第2回 (当日出願可) 3科 8:30~12:00 4科 8:30~13:00 国・算 60分 150点 理・社 40分 100点	夙川 第3回 (当日出願可) 2科 8:30~11:05 国or理 60分 150点 算 60分 150点
夙川 第1回 3科 8:30~12:00 国・算 60分 150点 理or社 40分 100点	<発表> 夙川 第1回 13:00~ HP・掲示	(入学予約) 須磨 第1回 夙川 第1回 ~12:00
夙川 第2回 (須磨会場あり) 2科 14:30~17:05 国or理or社 60分 150点 算 60分 150点	須磨 第3回 (当日出願可) 2科 14:30~17:05 国or理 60分 150点 算 60分 150点	<発表> 須磨 第2回・第3回 16:00~ HP・掲示
	<発表> 須磨 第1回 夙川 第2回 15:00~ HP・掲示	(入学予約) 夙川 第2回 ~18:00

<以降の日程>

21日(火) …夙川第3回の発表。10:00~ HP・掲示

22日(水) …須磨第2回の入学予約。~12:00

23日(木) …須磨第3回・夙川第3回の入学予約。~12:00

※須磨・夙川ともに、調査書の提出は不要。

※須磨・夙川ともに、web 出願の際に科目選択のチェック項目があるが、当日問題を見て変更することができる。

※須磨 第3回入試が始まってから、須磨 第1回、夙川 第2回の合格発表がある。

※夙川中学の第2回の入学予約手続きが1/20(月)の18:00まで。須磨学園の第2回・第3回の合否を確認した後に夙川中学の入金を決めることができる。

※須磨学園、夙川中学を受験する生徒の多くは夙川中学のプレテストを受けている。**夙川中学のプレテストを、受験しましょう。(詳細は夙川中学HPをご確認ください。)**

<夙川中学校 プレテスト(入試説明会同時開催)>

- ・日程 11月16日(土)
- ・会場 夙川中学校(須磨学園会場あり)
- ・時間 8:20集合 12:00終了
- ・科目 国・算(60分 150点) 理or社(40分 100点)
- ・費用 3000円

※申し込みは夙川中学校HPの申込フォーム(申し込み締め切り11/11(月))から行ってください。

● 加点 ●

1 複数回受験による加点（須磨学園、夙川中学とも）

回数	第1回	第2回	第3回
加点	○	6点加点	10点加点
	○	受験せず	6点加点
	受験せず	○	4点加点

2 海外帰国生優遇措置（須磨学園のみ）

対象者：小学校中学年・高学年時に1年6か月以上の海外在住経験があること。

事前に本校入試事務局（078-732-1968）まで利用資格の有無について必ずご相談ください。

配点：通常の配点と、傾斜配点(算：200点/国・理・社：100点)のいずれか高い方の得点率で判定される。

加 点：英検2級以上を取得していれば、各回5点加点。

（例）須磨学園を3回受験した際の第3回のテストでの加点は⇒複数回受験の10点+優遇措置の5点=15点
加点

※web出願の際、「優遇措置利用」の項目にチェックを入れること。

※帰国子女調査票、英検合格証明書の写しを提出。（2025年1月16日必着）

3 検定資格優遇措置（夙川中学のみ）

	3級	準2級	2級以上
英語検定	3点	5点	7点

（例）英語検定準2級を持っている生徒が、夙川を3回受験した場合の、第3回のテストでの加点は、
⇒複数回受験の10点+英語検定準2級の5点=15点加点

※web出願の際、「英検資格」の項目にチェックを入れること。

※英検合格証明書の写し、送付状を提出。（2025年1月16日必着）

● その他 ●

学校説明会や見学会、オープンスクールなどの詳細やお申し込みは各学校HPをご確認の上、お申込みください。

■ 中学入試データ

◆ 入試状況 ◆

			募集状況						
			募集人数	日程	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	実質倍率
2022	第1回	B	B : 40 A : 80	1/15	222	218	19	2.88	2.83
		A					58		
	第2回	B		1/16	458	451	56	3.37	3.32
A		80							
第3回	B	1/16 午後		492	465	51	3.35	3.16	
	A					96			
2023	第1回	B	B : 40 A : 80	1/14	187	176	24	2.13	2.00
		A					64		
	第2回	B		1/15	397	389	80	2.42	2.37
A		84							
第3回	B	1/15 午後		441	409	75	2.55	2.36	
	A					98			
2024	第1回	B	B : 40 A : 80	1/13	171	165	26	2.06	1.99
		A					57		
	第2回	B		1/14	362	356	67	2.21	2.17
A		97							
第3回	B	1/14 午後		400	376	87	2.21	2.08	
	A					94			

◆ 入試科目別 ◆

2022年度

科目	第1回				第2回				第3回		
	国語	算数	理科	社会	国語	算数	理科	社会	国語	算数	理科
満点	150	150	100	100	150	150	100	100	150	150	150
受験者平均点	89.3	92.5	60.0	64.3	88.0	87.1	59.1	59.8	104.6	87.9	105.1

2023年度

科目	第1回				第2回				第3回		
	国語	算数	理科	社会	国語	算数	理科	社会	国語	算数	理科
満点	150	150	100	100	150	150	100	100	150	150	150
受験者平均点	90.2	97.2	61.2	60.2	91.6	95.8	60.4	62.2	89.7	96.5	93.6

2024年度

科目	第1回				第2回				第3回		
	国語	算数	理科	社会	国語	算数	理科	社会	国語	算数	理科
満点	150	150	100	100	150	150	100	100	150	150	150
受験者平均点	93.6	99.8	60.3	62.6	93.8	94.0	61.5	62.0	89.7	96.5	93.6

過去3ヶ年入試問題の分析と対策 一 須磨学園中 ①

	2022年度	2023年度	2024年度	分析と対策
国語	<p>①論説文 〔抜き出し、語句の意味、選択肢、慣用表現、要旨の記述〕</p> <p>②物語文 〔語句の意味、選択肢、抜き出し〕</p>	<p>①論説文 〔選択肢、空欄補充、抜き出し、グラフの選択、要旨の記述〕</p> <p>②詩 〔連の数の把握、抜き出し、選択肢、空欄補充、ま行で始まる丸いもの、空欄補充の記述〕</p>	<p>①論説文 〔選択肢、要旨の記述、図の並べ替え、漢字〕</p> <p>②詩 〔語句の意味、連の数の把握、選択肢〕</p>	<p>大問二に詩を配する昨年度の傾向を踏襲する出題となった。大問一では図を文章内容に即して時系列に並べさせる設問もあり、グラフを導いた設問が出題された昨年度同様趣向を凝らした問題も目立つ。但し出題傾向の大幅に変化はなく、100字を一つの目的とする長文記述は、昨年同様1題出題され、難度の高い選択肢の出題傾向も変わらなない。文章量は決して多くないので、精読を心掛け、文章全体をきちんと読み取れる読解力と長文記述力の養成が重要である。</p>
算数	<p>①計算3題、逆算1題、単位換算1題</p> <p>②一行題 〔平面図形2題、約束記号、立体図形2題 場合の数、規則性、売買〕</p> <p>③速さ(流水算)</p> <p>④立体図形(水そうと水位)</p> <p>⑤数の性質(倍数と規則性)</p>	<p>①計算3題、逆算1題、単位換算1題</p> <p>②一行題 〔濃度、平面図形、集合、反射、場合の数 回転体、倍数と余り、図形の移動〕</p> <p>③場合の数(順列)</p> <p>④相似(電灯による影の長さ)</p> <p>⑤規則性・図形上の点の移動</p>	<p>①計算3題、逆算1題、単位換算1題</p> <p>②一行題 〔濃度、角度、約束記号、切断、消去算 平面図形、速さ、底辺比と面積比〕</p> <p>③規則性(ライオットの点滅)</p> <p>④平面図形(フランクタル図形)</p> <p>⑤立体図形(水そうと水位)</p>	<p>①計算、②一行題、③～⑤大問の出題形式は例年通り。①②は比較的易しい出題となっているので、ミスなく確実に得点したい。大問は平面図形、立体図形、速さ、場合の数など、例年、思考力重視の出題となっている。後半の大問の一部には式や考え方を求める欄もある。読み取り試行することで、その意味を考え、表や図などに表す力が必要である。日頃から筋道を立てて粘り強く考える習慣を大事にすること、このような力を養ってほしい。</p>
理 科	<p>①植物の屈光性</p> <p>②アソモニアの合成</p> <p>③手回し発電機とLED</p> <p>④地震</p>	<p>①植物の光合成と光の色</p> <p>②アセチレンの反応</p> <p>③電流の向きと電磁石の極</p> <p>④岩石の成分と火山</p>	<p>①マイクロプラスチック、生物濃縮</p> <p>②溶解度と凝固点降下</p> <p>③マイクロプラスチック、浮力</p> <p>④衛星の会合周期、惑星の順行・逆行</p>	<p>物理1・化学1・生物1・地学1の計4題。形式も計算・記述・作図など、多岐に渡る。本来は中学以上で学習するテーマの出題もあるが、問題文をよく読めば十分に解答できる。全体を通して、塾で詳しく扱わない細かい知識なども問われることが多くなってきた。この中で、日頃から気になった単語などを調べ、習慣を身につけてほしい。前期の間にテキストの内容を確実に身につけておくこと。過去問は、出題の癖を把握する練習と心得ること。</p>
社 会	<p>①歴史(戦争や戦乱に関する問題)</p> <p>②歴史(「茶」の歴史に関する問題)</p> <p>③地理(東北地方に関する問題)</p> <p>④地理(1964年から2021年までの生活や社会の変化に関する問題)</p> <p>⑤公民(新型コロナウイルスに関する動きを題材にした問題)</p>	<p>①歴史(遺跡や出土品に関連する問題)</p> <p>②歴史(歴史総合)</p> <p>③地理(東海地方に関する問題)</p> <p>④地理(いろいろな地図に関する問題)</p> <p>⑤公民(平和憲章に関連する問題)</p>	<p>①歴史(NHK大河ドラマを題材にした問題)</p> <p>②歴史(地震災害に関連する問題)</p> <p>③地理(地理総合)</p> <p>④地理(エネルギーと発電に関連する問題)</p> <p>⑤公民(政治総合)</p>	<p>前年に引き続き歴史2題、地理2題、公民1題の構成であった。本年も解答らんが数行ある記述問題が3題出題されていること、かつ日ごろより記述形式の問題に慣れておく必要がある。かつては解答用紙の略地図に書きこませる出題もあった。ふだんから、資料集などを利用して、時事問題を含め幅広い知識を養っておくことが必要である。</p>

	2022年度	2023年度	2024年度	分析と対策
国語	①論説文 〔空欄補充、慣用表現、選択肢、 要旨の記述〕 ②物語文 〔語句の意味、選択肢〕	①論説文 〔漢字、空欄補充、慣用句、 選択肢、要旨の記述〕 ②物語文 〔語句の意味、選択肢、古語の知識〕	①論説文 〔付属語の識別、選択肢、 文脈の把握、要旨の記述、漢字〕 ②物語文 〔語句の意味、選択肢、慣用句〕	昨年と同じく文章題2題構成、記述問題は120字の長文記述が1題のみ、選択肢を中心とするシンプルな出題構成である。文章全体の内容をしっかりと読解したうえでまとめる必要がある。選択肢についても消去法を用いても消し切れず、選びにくいものが多い。文章量自体は多くないため、精確な読解に基づき長文語句などを確実に得点できるものもしっかり得点化できる語彙力も必須。
算数	①計算5題 ②一行題 (過不足算、角度、規則性、回転体の体積、場合の数、体積、規則性、相似と面積) ③平面図形(お掃除ロボットの軌跡) ④文章題(仕事算と周期) ⑤速さ(流水算)	①計算5題 ②一行題 (角度、扇形の面積、濃度、三角形の面積、日暦算、道順、比例、回転体の体積) ③速さ(進行グラフ) ④規則性(三角形の数表) ⑤平面図形(相似、三角比の利用)	①計算5題 ②一行題 (濃度、角度、倍数、約束記号、回転体の体積、面積、論理、平面図形の回転移動) ③速さ(旅人算、進行グラフ) ④図形(平面図形の相似、立体図形) ⑤場合の数(道順)	出題形式、傾向、難度は例年通りで、1回目入試とも大きな違いはない。①の計算、②の一行問題は標準的な出題が大半なので、ここでミスなくしっかりと得点できるようにしておきたい。③以降の大問は難度の高い問題が出題されることが多い。毎年、式・考え方を記述させる大問が1題か2題ある。①では計算の工夫と単位換算が出題されるので、準備しておくこと。②をつckerこと得点できるだけの基礎学力を身につけることが先決であり、その上で解き易いところから絞って解くように日頃から練習しておきたい。
理科	①脊椎動物の配偶者選択、性転換の実験 ②消毒用エタノールの蒸留、濃度 ③光の屈折 ④前線と気団・雲、気象災害	①ミミズが与える環境への影響 ②二酸化炭素の発生 ③光の反射と熱 ④地球の熱の放射と環境問題	①生物の走性 ②電解質の濃度と流れる電流の大きさ ③放射性物質の半減期 ④水蒸気の過飽和と雪の結晶の形	物理1・化学1・生物1・地学1の計4題、表・グラフなどから規則性を把握する問題や、問題文から条件を読み取る問題が多く、暗記のみでは対応できない。対策としては、基礎知識をきちんと定着させたり、問題文や表、グラフが重要となる規則性や、筋道を立てて考える力が重要となる。また、授業では習わない知識も問われることがあるので、これらは過去問演習によって補うこともできるが、普段から科学的なニュースに興味を持つことも大切である。
社会	①歴史(高知県・土佐) ②歴史(日本と中国の関係史) ③地理(『事典 持続可能な社会と教育』) ④地理(香川県と埼玉県) ⑤公民(2021年サミット)	①歴史(須磨の歴史) ②歴史(貨幣の歴史) ③地理(宮城県と宮崎県) ④地理(日本と世界の自然災害) ⑤公民(文化庁移転、地方自治など)	①歴史(万博に関する年表) ②歴史(資料:絵・写真など) ③地理(阪神甲子園球場100周年より) ④地理(世界の人口・食料・資源など) ⑤公民(生成AI関連)	例年、大問5題(歴史2題、地理2題、公民1題)の構成。歴史では写真や図などの資料を使った問題が多く、地理では地図や統計に関する問題が多い。正誤判定や資料を考察する形式の問題が多いので、深い理解力が必須である。公民分野では時事問題にも常日頃から関心しておく必要がある。また、分野問わず短文記述問題の対策も必要である。保つたため、復習の繰り返しによる徹底に加え、最終的には過去問演習の徹底が必須である。

過去3ヶ年入試問題の分析と対策 一 須磨学園中 ③ 一

		2022年度	2023年度	2024年度	分析と対策
須磨学園中 ③	国語	<p>①論説文 〔空欄補充、言葉の意味、選択肢、指示語の記述(10字)、漢字〕</p> <p>②物語文 〔空欄補充、選択肢、ぬき出し、理由の記述(120字)〕</p>	<p>①論説文 〔脱文挿入、選択肢、空欄補充、ぬき出し、具体化の記述(120字)、漢字、対義語〕</p> <p>②物語文 〔言葉の意味、選択肢〕</p>	<p>①論説文 〔言葉の意味、脱文挿入、選択肢、空欄補充〕</p> <p>②物語文 〔選択肢、具体化の記述(120字)、漢字〕</p>	<p>昨年同様の文章2題構成。設問はソングルだが難度の高い選択肢が中心。記述問題については、100字を一つの目安とする長文記述のみが出題されている。第1回、第2回同様の傾向である。設問レベルは高く、選択肢は特にそれを定めづらいものが多い。文章の根拠と選択肢同士の比較をきちんと行っただけで解答する必要はある。文章全体を把握する読解力と、長文記述をまとめ切る記述力が必要不可欠である。</p>
	算数	<p>①計算5題 ②一行題 (数表、日暦算、表面積、約数の個数、回転体の体積、角度、割合、面積)</p> <p>③場合の数(順列)</p> <p>④平面図形(複合図形の面積)</p> <p>⑤速さ(時計算の応用)</p>	<p>①計算5題 ②一行題 (割合、角度、仕事算、回転体の表面積、水位変化の速さ、相似、規則性、面積)</p> <p>③速さ(時計算)</p> <p>④場合の数(ゲームのコマの置き方)</p> <p>⑤平面図形(おうぎ形の転がり移動)</p>	<p>①計算5題 ②一行題 (分数の群数列、角度、仕事算、相似、約束記号、立体図形の性質、濃度、平面図形の回転移動)</p> <p>③場合の数(順列)</p> <p>④立体図形(水そうと水量)</p> <p>⑤平面図形(図形上の点の移動)</p>	<p>出題形式、傾向、難度は例年通り。1回目、2回目の入試と比べると前半の問題はそれほど大きな差はないが、後半の大問においては、受験者層を意識してか、難度の高い出題がみられる。</p> <p>①の計算、②の一行題で確実に得点し、③以降の大問においても、3題のうち1題は完答して、その他も比較的易しい小問について、いくつかを得点したい。ていねいに場分けをしたり、図をかいて規則を見つけたりして答えを求めようとした粘り強さも必要である。</p>
理科	<p>①系統樹</p> <p>②中和と熱量</p> <p>③ししおとし(てこ)</p> <p>④うるうる年の計算</p>	<p>①眼球が情報を送る原理</p> <p>②原子と分子</p> <p>③水平投射</p> <p>④惑星や衛星が公転するようす</p>	<p>①心臓の動き</p> <p>②硫酸銅の水合物</p> <p>③電気自動車のバッテリー</p> <p>④地層、しゅう曲と断層</p>	<p>物理1・化学1・生物1・地学1の計4題。問題文を読み、規則性を導き出した上で計算・思考する出題や、高度な計算問題が多い。各大問とも問題文が良いので、要旨を素早くつかむ必要がある。</p> <p>各大問で問われる基本的な知識問題は確実に正解したいので、知識の定着を図ること。また、桁の多い計算問題は必ず慣れしておくこと。さらに、普段から問題のテーマを意識しながら文章を読み、素早く正確に内容を把握する練習を積むことが対策となる。</p>	

■ 須磨学園特訓の概要（今年度版）

【開催校】

◆明石校◆ ⇒加古川校 姫路校 学園都市校 明石校 に通われている生徒

◆元町校◆ ⇒上記以外の教室 に通われている生徒

【クラス編成】

明石校・元町校ともに定員 40 名前後、各校 1 クラスを予定しております。下記指定の教室で定員に達した場合、空きが出るまで待つか、もう一方の教室に空きがある場合はそちらにお通い頂くことになります。その際は担任にご相談下さい。

<対象教室>

- ・明石校：学園都市校・加古川校・姫路校・明石校の生徒が対象。
- ・元町校：上記教室以东の教室生が対象。

例) 姫路校の生徒だが、明石校が定員に達している場合、

- ・明石校の席が空くまで待つ。
- ・元町校に空きがある場合、元町校まで通う。

…のいずれか。その後、明石校に空席ができれば、ご家庭に連絡の上、明石校に移籍。

※塾外生は須磨学園特訓に参加できません。

【受講基準偏差値】

◆2月から ⇒3科平均偏差値が 51.0 以上
または
「思考力育成テスト」3科平均順位が 350 位以内

◆9月から ⇒3科平均偏差値が 54.0 以上

夏期からではありません！

【指導教科】

◆前期（2月～夏期）⇒算数は毎週、国語／理科は隔週実施。

◆後期（9月～） ⇒毎週、国語・算数・理科を実施。

◆一週間のスケジュールモデル ◆

火曜日	木曜日	土曜日	日曜日
国語	理科	算数 社会	学習力育成テスト※・公開模 試 須磨学園特訓

※ 前期は学習力育成テスト、後期は合格力育成（実践）テスト

（本科クラス）国語 150 分・算数 200 分・理科 150 分・社会 100 分

（本科発展クラス）国語 200 分・算数 250 分・理科 150 分・社会 100 分

◆ 授業時間 ◆

- 前期 -	
09:00～12:20	学習力育成テスト 公開模試
12:20～12:45	食事休憩
12:45～14:25	授業① (100分)
14:35～16:15	授業② (100分)

- 後期 -	
09:00～12:20	合格力育成テスト・合格力実践テスト 公開模試
12:20～12:45	食事休憩
12:45～14:25	授業① (100分)
14:35～16:15	授業② (100分)
16:25～18:05	授業③ (100分)

※ 学習力育成テストや公開模試等のテストは特訓開催校で受験します。

※ 次年度の特訓時間割は変更になる場合があります。

◆ 特訓保護者会 ◆

年3回実施（第1回は4月、第2回は7月、第3回は10月ごろに実施）

第1回保護者会…特訓担当者紹介、特訓指導方針、前期指導内容など。

第2回保護者会…後期指導内容、入試説明、併願校の紹介など。

第3回保護者会…受験直前期の心構え、生徒の現状など。

◆ 特訓イベント ◆

① 入試シミュレーション

後期に2回実施。第1回は10月ごろ、第2回は11月ごろを予定。特訓内の平均点や順位も出します。

② 学校見学会

前期に、日能研生限定（5・6年）の学校説明会が、昨年より再開されました。90組・180名以上の方がご参加されました。当日は日能研に通っていた生徒たちも壇上で発表したり、説明会に来られた親御さんの質問に対応したりしていました。

【年間指導概要】

	回数	国語	算数	理科
前期 (2月～7月)	1	選択肢(物語文・論説文)	立体図形の求積	力学総合
	2		仕事算・ニュートン算	
	3	ぬき出し(物語文・論説文)	規則性	化学総合
	4		群数列	
	5	具体化の記述(物語文・論説文)	約数・倍数	植物①、②
	6		周期・約束記号	
	7	心情・細部表現(物語文)	数論総合	動物、人体①
	8		場合の数	
	9	理由の記述(物語文・論説文)	つるかめ算	人体②、地表面の変化
	10		平均・過不足	
	11	長文記述(物語文・論説文)	倍数算	天体①、②
	12		濃度	
	13	入試問題演習	求角・求積	天体③、気象
	14		図形の移動	
	15	入試問題演習	底辺比・面積比	気体、水溶液①
	16		相似	
	17	入試問題演習	速さと比Ⅰ	水溶液②、燃焼、熱
	18		速さと比Ⅱ	
	19	入試問題演習	速さと比Ⅲ	音、光
	20		速さと比Ⅳ	
夏期	1	夏期特訓①	夏期特訓①	
	2		夏期特訓②	夏期特訓①
	3	夏期特訓②	夏期特訓③	
	4		夏期特訓④	夏期特訓②
	5	夏期特訓③	夏期特訓⑤	
	6		夏期特訓⑥	夏期特訓③
後期 (9月～1月)	1	入試問題演習	入試問題演習	入試問題演習
	2	入試問題演習	入試問題演習	入試問題演習
	3	入試問題演習	入試問題演習	入試問題演習
	4	入試問題演習	単元別「立体」	入試問題演習
	5	入試問題演習	入試問題演習	入試問題演習
	6	入試問題演習	入試問題演習	入試問題演習
	7	入試問題演習	入試問題演習	入試問題演習
	8	入試問題演習	単元別「ダイヤグラム」	入試問題演習
	9	入試問題演習	入試問題演習	入試問題演習
	10	入試問題演習	入試問題演習	入試問題演習
	11	入試問題演習	入試問題演習	入試問題演習
	12	入試問題演習	入試問題演習	入試問題演習
	13	入試問題演習	単元別「場合の数」	入試問題演習
	14	入試問題演習	入試問題演習	入試問題演習
	15	入試問題演習	入試問題演習	入試問題演習
	16	入試問題演習	入試問題演習	入試問題演習

※「入試問題演習」は夙川中学の問題も扱います。

■ 国語の指導内容

◆ 入試の出題傾向 ◆

大問2題構成で、説明的文章と物語あるいは詩の出題があります。漢字や語句の知識系問題は、それぞれの大問で問われています。入試時間は60分ですが、説明的文章の内容が難しかったり、選択問題の選択肢がまぎらわしかったりして、思わぬところに時間を要することがあります。したがって、「どの問題に時間をかけるか」「どの問題を後回しにするか」等の方針を立てながら解くのがよいでしょう。

記述問題は、文章全体の内容を踏まえた上で、100字程度で書くことを要求される長文記述の出題があります。設問条件で求められた内容がきちんと書けているか、主語や述語の対応など、しっかりした文章構成ができていくかということを意識して答えを作ることが重要です。そのためには、ふだんの本科授業や特訓授業で扱う教材をしっかり読みこんで、問題に積極的に取り組むことが肝心です。なお、「〇〇字以上」という字数指定がある出題では、字数不足は点数をもらえないので気をつけましょう。「理由」「具体化」「心情」の記述はよく出題されますので、文章から読み取った内容を整理し、しっかりと表現できるようにしましょう。

選択問題は、以前は5つの選択肢から構成されていましたが、2018年度から4つの選択肢構成に変わりました。まぎらわしい内容が多いので、しっかり吟味する習慣を普段から身につけておいてください。思い込みで選択しないように注意しましょう。

語句関連では、言葉の意味を問う出題がありますので、普段の家庭学習において、国語辞典を活用して語彙を増やすように心がけましょう。また、「ことわざ・慣用句・敬語」は今後も出題される可能性が考えられますので、確実に習得することが大事です。漢字の学習も、もちろん重要です。本科授業で使用している「計算と漢字」「語句のまとめ」、特訓授業の漢字・語句対策プリントを完全にマスターしましょう。

◆ 前期特訓の内容 ◆

前期の授業では、須磨学園合格のための土台となる基礎的な読解力の養成を目的としています。使用する教材は須磨学園の過去問ではありませんが、須磨学園の傾向に合わせたカリキュラムを組んでいます。授業中に2題の読解問題に取り組んで、時間内に空欄なく自分の答えを書く練習をしていきます。また、夙川中学の入試問題を扱う回もありますので、積極的に取り組んでください。

◆ 後期特訓の内容 ◆

後期の授業では、須磨学園の過去問に取り組めます。前回までの過去問の取り組みにおける反省点を踏まえて、時間配分や問題に手をつける順番などに気をつけながら解いていきます。

記述問題は、解答用紙を回収して授業担当者が採点します。授業中は、間違いやすい問題や記述問題を中心に解説していく予定です。

■ 算数の指導内容

◆ 入試の出題傾向 ◆

例年、第1回～第3回とも難度の高い出題があり、2023年度入試も同様の印象がありました。しっかりと知識、筋道を立てて考え進める力、確実に正解を導き出す注意深さと計算力が必要な入試です。また、合格者平均点は高めなので、全体を通して、必ず正解しなければならない問題と不正解でも構わない問題を見極める力も必要です。目標としては公開模試偏差値 60 を取ることを目指す必要があります。3回とも60分で150点満点のテストです。高得点を取るには「大問1の計算問題と大問2の一行題で満点を取る」という心構えで臨まねばなりません。大問1で得点するために今できることは「計算マスター」をしっかり仕上げることです。このレベルを完璧にこなせるようになることが須磨学園合格の第一歩です。大問2の一行題と大問3以降のテーマ別問題の攻略については、本科授業の宿題の際の振り返りの習慣にあります。「間違っただ問題は赤ペンで解説を写して終わり」ではなく「解説を読んで理解する→解説を見ずに再現できるかノートに書き直す→もう一度解説を見て再現できているか確認する」を繰り返しましょう。

また、学習力育成テストでは、今まで習った事のうち「どれが使えるだろうか」と考える習慣を身につけることも大切です。一見知らない問題でも、条件を書き出すなど手を動かしていると以前に解いたことのあるパターンの問題であったということがよくあります。

◆ 前期特訓の内容 ◆

● 計算テスト

授業のはじめに、計算テストを10分で実施し交換採点をします。計算テストの前半の問題は難度を抑えてありますが、後半の問題は入試問題レベルのものもあります。須磨学園の実際の入試に出題された計算問題を収録している冊子「須磨の計算」を夏休み前に配付し、夏休み中に計算の練習を積んでいくこととなります。前述の通り高得点を取るためには高い計算力が必要です。「須磨の計算」だけでなく、本科授業の「計算マスター」もしっかりこなすことで計算力をつけていきましょう。

● 問題演習

ほぼ本科授業の後を追う形で、単元別に授業を行います。1回の授業の中で「例題を説明→難度が高めの問題を選んで演習」というサイクルが3～4回あります。難度が高い問題に取り組むことで、須磨学園の入試問題に対応する力をつけるための高度な知識を定着させることがねらいです。

◆ 後期特訓の内容 ◆

過去問は入試問題の配点と傾向が変わった2016年度以降を中心に進めています。本番の試験時間は60分ですが、特訓では50分で演習、交換採点、解説という流れで進行しています。解説の時間に限りがあるので全問の解説はできませんが、実際の入試で必ず正解しなければならない問題、今すぐは難しくても可能であれば得点したい問題、不正解でも合格点に影響はない問題を指示しています。

難問については、すぐに解答を見ずに、「まず手を動かしてみる」「まず計算できるところを求めておく」という習慣を身につけることが大切です。

■ 理科の指導内容

◆ 入試の出題傾向 ◆

生物・化学・物理・地学の4分野すべてがこの順で、1題ずつ出題されます。2015年度以降、「見たことはないけれど、問題文を把握すれば解答を導ける」という出題傾向が強く、易しい問題がほとんどないのが特徴です。

以前は平均2400文字の説明文を読まなければならなかった(2018・2019あたりがピーク)のが、近年、見開き2ページで大問1題構成(平均1500文字程度)というレイアウトに変更され、文章量は減りました。その分、文章の無駄が少なく、細大漏らさず読み解く必要があります。2014年度以前とは、試験時間や小問数がなどの傾向が今とは異なっています。

◆ 前期特訓の内容 ◆

前期特訓テキストを使用して、演習中心の授業を行っています。特訓テキストはレベルA～レベルCに分かれています。特訓授業内では、本科授業の中でもことさら大事な内容の復習や、本科では扱いきれないテーマの説明授業、レベルCの問題を中心に行っています。

須磨学園の問題に対応する力をつけるため、授業では「計算問題」と「問題文を速く正確に把握すること」を中心に、普段の本科授業では扱いにくいレベルの内容を扱っています。

◆ 後期特訓の内容 ◆

後期(100分・毎週)では須磨学園の過去問を回数別に行っています。2018年度以降の問題や夙川中学の過去問を扱っています。授業中は、生徒が気になっている問題を中心に解説しています。問題の取捨選択や解く順番、正解となる記述のポイントなど、実践で役に立つ方法も伝えていきます。

なお、過去問等をご家庭で解きたい場合は、授業で使用し終わっていない年度・回を先に解かないで下さい。授業で扱った後の年度・回の問題は何回解き直しても問題ありません。